

医学科教育学修プログラム

令和8年度

5・6年次

【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

医学科5・6年次目次

5年次通年

区分	授業科目名	科目責任者
必修 専門科目	臨床実習Ⅰβ	植木 賢 : 1 ~ 2

6年次通年

区分	授業科目名	
必修 専門科目	臨床実習Ⅱ	谷口晋一 : 3 ~ 4

※臨床実習Ⅰβ・Ⅱの詳細については、オリエンテーションで配布する手引きを参照してください。

科目コード／Subject Code	M7208073
ナンバリング／Numbering	
科目名／Subject Name	臨床実習Ⅰβ
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	植木 賢, 河村 浩二, 花木 武彦
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	5
開講時期／Quarter	通年
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	月 1, 月 2, 月 3, 月 4, 月 5, 火 1, 火 2, 火 3, 火 4, 火 5, 水 1, 水 2, 水 3, 水 4, 水 5
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	実験実習
単位数／Unit Count	28.5
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室／Department/Center and Room	植木 賢（学部教育支援室長）
オフィスアワー／Office Hours	
担当教員への連絡方法／Contact Details	学務課教務係 me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp
授業の目的と概要／Course Description and Outline	従来の臨床実習は、学生が医師の診療を見学するだけの「見学型」、あるいは、学生が患者さんを相手に医療面接や身体診察を行ってはいても、それらの行為はあくまでも診療の枠外で行われる「模擬診療型」の実習であった。これに対して、新しい臨床実習の形態は、学生も診療チームの一員（臨床実習生（医学））として診療業務を担当しながら学んでいく「診療参加型」の実習で、このような臨床実習はクリニカル・クラークシップと呼ばれる。クリニカル・クラークシップでは、指導医師の指導あるいは監視のもとに、学生も、許容された一定範囲の医行為を行う。診療参加型実習によって大きな教育効果が期待される一方で、診療チームの一員として診療に参加し、一定範囲の医行為を行うということは、学生も医療従事者として、義務、責任を負うということをしつかりと理解しておかなければならない。一部の診療科では見学型あるいは模擬診療型実習が行われるが、その場合でも、自分が医療従事者の一人であることを決して忘れず、常に責任ある行動をとることが求められる。
キーワード／Keywords	「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照。
到達目標／Objectives	患者情報の収集、記録、診断、治療計画について学ぶ。患者との信頼関係に基づいた医療面接と診察法を学ぶ、基本的臨床手技の目的、適応、禁忌、合併症と実施法を学ぶ。基本的内科疾患を受け持ち、症候・病態、診断、治療と予後を学ぶ、基本的な精神症状の評価の仕方、面接法、治療を学ぶ。基本的小児科疾患を受け持ち、症候・病態、診断、治療と予後を学ぶ、基本的外科疾患を受け持ち、外科的治療を学ぶ。基本的産婦人科疾患を受け持ち、女性の健康問題、症候、診断、治療と予後を学ぶ、診療チームの一員として救急医療に参加する、地域社会（へき地・離島を含む）で求められる保健・医療・福祉・介護等の活動を通して、各々の実態や連携の必要性を学ぶ
他の科目との関連／Prerequisite	
教科書（テキスト）・参考書／Textbooks and Bibliography	「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照。
授業の形式／Classwork	実習
成績の評価方法及び基準／Assessment	全実習科共通の評価シートにて評価する。なお、全実習科・実習施設について全出席であることを単位認定の前提条件とする。
担当教員からのメッセージ／Message from the Teacher	正当な理由なき欠席、遅刻、早退は認められない。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など）／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	授業内容： 第一内科診療科群、第二内科診療科群、第三内科診療科群、精神科、小児科、第一外科診療科群、心臓血管外科、胸部外科診療科群、整形外科、泌尿器科、眼科、頭頸部診療科群、放射線診療科群、女性診療科群（産科婦人科）、救急科、神経内科、脳神経外科、の17診療科を各2週間ずつ、皮膚科、麻酔診療科群、血液内科（臨床検査医学）、脳神経小児科、病理診断科、感染症内科、地域医療の7診療科を各1週間ずつ、歯科口腔外科及び形成外科を併せて1週間の全42週間の実習を行う。 各実習の内容は「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照。 予習・復習内容： 「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照にして、教科書等をよく読み事前に調べておくこと。実習後も理解を深めるために復習に励むこと。 担当者： 学部教育支援室及び各診療科の全教員が担当する。 期間： 詳細は「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照。

教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養（文化・社会・自然に関する幅広い知識）、現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、現代的教養（論理的な課題探求と解決力）、現代的教養（創造性に富む思考力）、人間力（自律性に基づく実行力）、人間力（多様な環境下での協働力）、人間力（高い倫理観と市民としての社会性）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている
実務経験 ／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する実習を行う。

科目コード／Subject Code	M7208063
ナンバリング／Numbering	MMCLC4302
科目名／Subject Name	臨床実習Ⅱ
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	山崎 章, 孫 大輔, 植木 賢, 花木 武彦
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	5, 6
開講時期／Quarter	通年
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	月 1, 月 2, 月 3, 月 4, 月 5, 火 1, 火 2, 火 3, 火 4, 火 5, 水 1, 水 2, 水 3, 水 4, 水 5
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	実験実習
単位数／Unit Count	18.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室／Department/Center and Room	植木 賢（医学教育学） 花木 武彦（医学教育学） 山崎 章（呼吸器・膠原病内科学） 孫 大輔（地域医療学）
オフィスアワー／Office Hours	
担当教員への連絡方法／Contact Details	学務課教務係 me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp
授業の目的と概要／Course Description and Outline	従来の臨床実習は、学生が医師の診療を見学するだけの「見学型」、あるいは、学生が患者さんを相手に医療面接や身体診察を行ってはいても、それらの行為はあくまでも診療の枠外で行われる「模擬診療型」の実習であった。これに対して、新しい臨床実習の形態は、学生も診療チームの一員（臨床実習生（医学））として診療業務を担当しながら学んでいく「診療参加型」の実習で、このような臨床実習はクリニカル・クラークシップと呼ばれる。クリニカル・クラークシップでは、指導医師の指導あるいは監視のもとに、学生も、許容された一定範囲の医行為を行う。診療参加型実習によって大きな教育効果が期待される一方で、診療チームの一員として診療に参加し、一定範囲の医行為を行うということは、学生も医療従事者として、義務、責任を負うということをしかりと理解しておかなければならない。一部の診療科では見学型あるいは模擬診療型実習が行われるが、その場合でも、自分が医療従事者の一人であることを決して忘れず、常に責任ある行動をとることが求められる。
キーワード／Keywords	「クリニカルクラークシップの手引き 別冊」の各実習プログラムのページを参照。
到達目標／Objectives	患者情報の収集、記録、診断、治療計画について学ぶ。患者との信頼関係に基づいた医療面接と診察法を学ぶ、基本的臨床手技の目的、適応、禁忌、合併症と実施法を学ぶ。基本的内科疾患を受け持ち、症候・病態、診断、治療と予後を学ぶ、基本的な精神症状の評価の仕方、面接法、治療を学ぶ。基本的小児科疾患を受け持ち、症候・病態、診断、治療と予後を学ぶ、基本的外科疾患を受け持ち、外科的治療を学ぶ。基本的産婦人科疾患を受け持ち、女性の健康問題、症候、診断、治療と予後を学ぶ、診療チームの一員として救急医療に参加する、地域社会（へき地・離島を含む）で求められる保健・医療・福祉・介護等の活動を通して、各々の実態や連携の必要性を学ぶ
他の科目との関連／Prerequisite	
教科書（テキスト）・参考書／Textbooks and Bibliography	「クリニカルクラークシップの手引き 別冊」の各実習プログラムのページを参照。
授業の形式／Classwork	実習
成績の評価方法及び基準／Assessment	全実習科共通の評価シートにて評価する。なお、全実習科・実習施設について全出席であることを単位認定の前提条件とする。
担当教員からのメッセージ／Message from the Teacher	正当な理由なき欠席、遅刻、早退は認められない
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など）／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	授業内容： 鳥取大学医学部附属病院の診療科あるいは大学が指定する学外施設から実習科・実習施設を選択し、計24週間の実習を行う。 各実習の内容は「クリニカルクラークシップの手引き 別冊」の各実習プログラムのページを参照。 予習・復習内容： 各専門分野の疾患の診断・治療について推奨されたテキストで予習復習をおこなうこと。 担当者： 学部教育支援室及び各診療科の全教員が担当する。 期間： 24週 詳細は「クリニカルクラークシップの手引き 別冊」の各実習プログラムのページを参照。

教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養（文化・社会・自然に関する幅広い知識）、現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、現代的教養（論理的な課題探求と解決力）、現代的教養（創造性に富む思考力）、人間力（自律性に基づく実行力）、人間力（多様な環境下での協働力）、人間力（高い倫理観と市民としての社会性）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている
実務経験 ／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する実習を行う。